

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人石見銀山資料館
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	「世界遺産の学びのバリアフリー化」に向けた ICT 教材の制作プロジェクト事業
事業費(うち助成金額)	376,308 円(370,000 円)

### 第5回 石見銀山講座



### ■事業目的

当法人では、世界遺産を SDGs の教材と捉え、誰もがその学びを享受できる環境の実現に向け「学びのバリアフリー」を提唱しています。本事業は、その一環として取り組むもので、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」を素材やフィールドに、誰もが世界遺産の学びを享受できる環境を、ICT 教材を整備することで実現を図るというもので、その目的は「世界遺産の学び」を通じたインクルーシブ教育の推進です。つまり「障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み」を作ることで共生社会の実現を目指します。

### ■事業内容

本事業では ICT 教材として電子書籍と学習動画の制作を行うもので、それにあたってはインクルーシブ教育の観点から大田市内の視覚障がい者のグループ、大田市地域福祉課、手話ボランティアの方々からご意見を伺いながら進めました。

#### \*ICT 教材の制作

電子書籍・・・石見銀山の歴史や大田市の郷土資料に関するもの（「石見銀山要集」・『石見瓦窯誌』（復刻）・「箱ずし」（絵本）  
 学習動画・・・石見銀山遺跡の紹介（城上神社編）・「石見銀山絵巻の解説」（視覚障がい者の視点）・「鬼と観音様」（大田市の昔話の紙芝居）

#### \*聴覚障がい者を対象とした講座と動画制作のワークショップの開催

大田市の「聾者の会」の皆さんを対象とする石見銀山講座の開催とフィールド学習（6月から11月まで月1回）

### ■成果と今後の展望

本事業では、石見銀山に関する動画や電子書籍などの ICT 教材を制作した。新型コロナウイルスの蔓延によって感染防止のため人々の接触が制限されたこともあり、期せずして職場や学校、家庭でのインターネットの利用がこれまでになく進むこととなりました。特に学校現場では長期間の休校や対面授業の制約などもあり zoom や teams を利用した遠隔授業に加え、学習動画や電子教材などの ICT の活用やデジタルコンテンツへの需要が高まってきました。本事業は当初からこうした状況を見越したものではありませんでしたが、結果的には時宜を得たものとなりました。また、計画では制作した電子書籍は、Amazonkindle や appstore などの民間のサービスを利用する予定でしたが、「令和2年度持続可能な社会貢献活動支援事業費補助金」の採択により「石見銀山Eライブラリー」という専用の電子図書館を開設することができました。これにより専用のアプリを必要とせず誰もが自由に閲覧することが可能となりました。令和3年度からGIGAスクール構想が実施され、学校教育での ICT 教材の需要が高まるものと予想されます。事実、昨年度は本助成を受けたことで大田市教育委員会からふるさと教育用の電子教材制作の依頼を受けています。今後は本事業で習得した技術を活かして多様なコンテンツの制作に取り組むつもりです。